

1章1節 いざ、ビジネスの世界へ【ルーブリック評価表】

評価観点	評価方法	内容のまとめ	学習のねらい	問・課題	A(十分に満足できる)	B(おおむね満足できる)	C(努力を要する)	評価の留意事項
思考・判断・表現	レポート(ワークシート)	1. ビジネスの世界で活躍	私たちの生活とビジネスの関係を考察し、ビジネスの特徴的なSceneを認識することで、これから学ぶ商業についての内容の概観を理解する。	問 教科書の4つのBusinessSceneの内容をまとめ、なぜ商業を学ぶことが大切なのか説明しなさい。	事例の内容を正確かつ簡潔に要約し、なぜ商業を学習する必要があるのかを多角的な視点から深く考察している。	事例の内容を適切に要約しているが、一部要素の欠落や説明の不足が見られる。商業の学習の必要性を適切に考察している。	事例の内容を十分に要約できておらず、内容の理解に誤りや偏りが見られる。事例をほとんど考慮せず、一般論や抽象的な言葉で商業の学習の必要性を述べている。 【手立て】BusinessSceneの事例が現実社会とどのように関連しているのかを理解させ、学んだ知識が、将来どのように役立つのかを具体的に想像させる。	個人的な興味や関心だけでなく、社会的な意義(例:社会で役立つ、問題を解決する)、学問的な意義(例:他の分野と関連する、より高度な学習につながる)など、多角的な視点から説明できているものを好例とし、単なる感想ではなく、論理的な根拠に基づいた考察ができているものを評価Aとする。
主体的に学習に取り組む態度	ワークシート 発表	2. ビジネスで必要な心構え	ビジネスで必要となる心構えを認識し、実際に活躍されている他者の意見などから、自らの態度について調整する。	課題 事例インタビュー動画(田口一成さん)を視聴し、インタビューの内容をまとめるとともに、自分の意見を考察し、発表する。	インタビューの内容を正確かつ簡潔に要約し、重要なポイントを網羅的に捉えている。また、インタビューの内容を踏まえ、多角的な視点から自らの今後の態度について深く考察している。	インタビューの内容を適切に要約しているが、一部ポイントの欠落や整理の甘さが見られる。また、インタビューの内容を踏まえ、自らの今後の態度について適切な考察を行っている。	インタビューの内容を十分に要約できておらず、内容の理解に誤りや偏りが見られる。また、インタビューの内容をほとんど考慮せず、自己中心的な意見を述べている。 【手立て】話を要約する基本的な手法について説明し、教科書に掲載されている心構えの重要性について認識させる。	ソーシャル・ビジネス等に関する要約や、他者の考え方に対する考察の内容を明確かつ分かりやすく表現しており、聞き手にとって理解しやすいように、適切な言葉遣いや構成を用いている発表を評価Aとする。
思考・判断・表現	レポート(ワークシート)	3. しっかり楽しく学んでいこう	商業の学習内容及び科目について理解し、学習を進める意義について認識する。	問 商業の4つの分野のうち、気になるものを1つ取り上げ、そこで学ぶ内容と、将来にどのように活かすことができるかを説明しなさい。	商業の4分野から適切な分野を選択し、その分野の概要と重要性を明確かつ簡潔に説明している。選択した分野で学ぶ具体的な内容を、複数の要素(例:具体的な科目名、学ぶスキル、得られる知識など)を含めて詳細に説明している。学習内容が将来のどのような場面でどのように活かせるのかを、具体的に説明している。	商業の4分野から適切な分野を選択し、その分野の概要を適切に説明している学習内容が将来どのように活かせるのかを適切に説明している。	商業の分野選択が適切でない、または分野の説明がほとんどなされていない。学習内容と将来の関連付けがほとんどなされていない。 【手立て】どの分野に興味があるのか、将来どのようなことをしたいのかをヒアリングし、適切な分野選択を支援する。	分野や科目の正式名称を暗記させることに終始せず、これから学んでいく商業の内容に興味を持てるようにする。